第2章　平成27年度山口大学構内遺跡の調査

第1節　平成27年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財の保護・調査・研究・活用する施設として昭和52年(1977)に竣工し、昭和54年(1979)に教職員が配置されて以来、その重責を担い続けている。当館の平成27年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が位置する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の観点から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で厳密に調査を行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できる限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する平成27

表3　平成27年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積（㎡）	調査期間	本書掲載頁
本発掘	総合研究棟（国際総合科学部）改修工事	吉田	H-18・19	56.5	7月30日～8月28日	14-23
予備発掘	保育所新営その他工事	小串		50	5月13日～6月6日	87-90
立会	動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（設備関連）	吉田	R・S－19	44.5	3月31日～4月2日	24-31
	動物医療センター（ニリアック室等）新営その他工事（プレハブ撤去）	吉田	S－19・20	50	4月22日～5月1日	32-67
	動物医療センター（ニリアック室等）新営その他工事（外灯設置）	吉田	S－20	2	9月28日	68-69
	動物医療センター外灯設置工事	吉田	S－20	22	1月23・31日　2月10日	70-71
	共同獣医学部解剖実習棟前動物体焼却炉設置工事	吉田	R-19・20　S-20	10.75	1月14・18日	72-73
	共同獣医学部枠場設置築工事	吉田	R・S－20	25	2月15・16日	74
	共同獣医学部カーポート設置工事	吉田	N－17	3	7月25日	75
	農学部附属農場水田排水路工事	吉田	T・U－15・17	100	11月6日	76-77
	理学部駐輪場屋根新設工事	吉田	N－20	16	3月22日	78
	図書館周辺雨水排水整備工事	吉田	N－16	35	9月18・19日	79
	総合研究棟横小路バリカー設置工事	吉田	Q－18・19	0.25	1月22日	80
	総合研究棟北側喫煙所新設工事	吉田	Q－17・18	4.5	2月15日	81
	陸上競技場横遊歩道標識設置工事	吉田	E－20　H－18	2	10月28日	82
	正門前樹木植樹工事	吉田	I－12	5	11月4日	83
	事務局前樹木移設工事	吉田	K－15　I－16	14.5	7月18日	84
	教育学部附属山口中学校グラウンド防球ネット新設工事	白石		1.3	12月24日	85
	教育学部附属山口小学校ガス管交換工事	白石		8	12月29日	86

年度の当館の教職員配置は、専任教員3名、教務補佐員1名、技術補佐員1名であった。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能であるかどうか厳密な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報（年報）を刊行している。

上記の調査体制のもと、平成27年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財調査は、表3のとおり、本発掘調査1件（予備発掘調査から本発掘調査に移行）、予備発掘調査1件、立会調査16件、ライフライン改修のための緊急立会1件の計17件であった。

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校：同吉田3003所在）

例年通り、平成27年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は本発掘調査1件、立会調

写真28　吉田構内航空写真（南東から）

写真29　白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（東から）

写真30　白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）

図１　山口大学吉田・白石構内位置図

査15件を数える。

当該年度は、共同獣医学部が欧州獣医学教育国際認証を取得するために必要な施設拡充が計画されたことから、動物医療センター周域に開発工事が集中した。中でも、動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（プレハブ撤去）に伴う立会調査では、前年度に実施した動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事に伴う本発掘調査区に隣接しており、プレハブの下に古代埋没谷の最深部が存在することが確実であったことから、本発掘調査同等の対応をとったところ、谷埋土より多量の土器とともに、全国5例目となる音義木簡の出土を見た。そのほか、動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（設備関連）に伴う立会調査、動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（外灯）に伴う立会調査、動物医療センター外灯設置工事に伴う立会調査などにおいても埋没谷または遺物包含層を検出しており、遺物が出土している。

総合研究棟（国際総合科学部）改修工事に対しては、地下を深く掘削するエレベーター設置工事に対して、棟西面に予備発掘調査を実施し、遺構が希薄かつエレベーターの使用に大きな不都合のない場所を選定し、本発掘調査を行った。埋蔵文化財保護の観点から、本発掘調査区以外は遺構の検出にとどめたため、各遺構の性格や所属時期に不明な点を残すが、昭和56年(1981)に実施され、長らく調査区の正確な位置が不明であった教育学部H19区調査区（竪穴住居跡4棟、土壙8基、溝9条などが検出）との位置関係を知る手がかりを得た。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在）

立会調査2件を実施したが、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

予備発掘調査1件を実施した。保育所新営その他工事に伴う予備発掘調査を、既設の保育所南西側の駐車場敷地にて実施した。調査計画どおり、旧海底堆積層（灰色砂礫に多量の貝が堆積する）に達する海抜0m付近まで掘削を行ったが、想定より早い梅雨入りのため調査区壁面が大きく崩落したことから、諸記録作業が行えなかった。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3所在）

平成27年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

光構内（教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号）

平成27年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

図2 小串・常盤構内位置図

写真31 小串構内航空写真（南東から）

写真32 常盤構内航空写真（南から）

写真33 光構内航空写真（北東から）

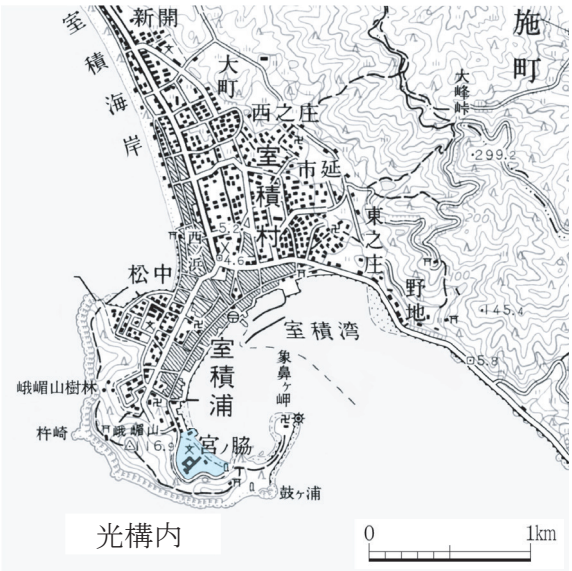

図3 光構内位置図